ประกาศคณะกรรมการสนับสนุนมาตรการกระตุ้นเศรษฐกิจและการลงทุน
โดยการดึงดูดชาวต่างชาติที่มีศักยภาพสูงสู่ประเทศไทย
ที่ 1/2567
เรื่อง หลักเกณฑ์ เงื่อนไข และวิธีการรับรองตัวแทนกลุ่ม 2

非公式訳

裕福または才能のある外国人の誘致による投資および

経済の促進措置推進委員会布告

第 1/2567 号

件名：グループ 2 の代理人認定基準、条件、方法について

政府が長期滞在ビザ (long-term resident visa : LTR Visa) により裕福または才能のある外国人の誘致による投資および経済の促進措置を導入することにより、広範囲かつあらゆるレベルで景気が刺激されることとなる。裕福または才能のある外国人に、タイで滞在するために包括的かつ総合的なサービスを提供することが必要となるため、対象となる外国人が効率的かつ迅速で利便性の高く、情報セキュリティの安全性や個人情報の標準的な取り扱いを備えたサービスを受けられるよう文書確認プラットフォームサービス (Certified Agency for Verification Platform Service) を提供するための開発において能力の高い民間企業の参画を促進すべきである。

仏暦 2565 年 (2022 年) 裕福または才能のある外国人の誘致による投資および経済の促進に関する首相府規則第 7(2) 項の内容および仏暦 2567 年 (2024 年) 2 月 29 日に行われた第 1/2567 回 裕福または才能のある外国人の誘致による投資および経済の促進措置推進委員会会議の決議の権限に基づき、委員会は以下のとおり発布する。

第 1 項 本布告における定義

「措置」とは、長期滞在ビザ (long-term resident visa : LTR Visa) で裕福または才能のある外国人の誘致による投資および経済促進の措置を意味する。

「委員会」とは、裕福または才能のある外国人の誘致による投資および経済促進措置推進委員会を意味する。

「認定」とは、文書確認プラットフォームを通して申請する者の代理人を認証することおよび委員会の定めたその他の手続きを意味する。

「グループ 2 の認定代理人」とは、長期滞在ビザを申請するまたは取得した外国人の代理人として、文書確認プラットフォーム (Certified Agency for Verification Platform Service: CA 2) サービスを提供するため、委員会の認定を受けたサービス提供者を意味する。

「申請書」とは、裕福または才能のある外国人の誘致による投資および経済の促進措置に基づく長期滞在ビザ（long-term resident visa：LTR Visa）取得資格のある者である旨の資格証明申請書を意味する。

「LTR ビザ」とは、裕福または才能のある外国人の誘致による投資および経済の促進措置に基づく長期滞在ビザ(long-term resident visa)を意味する。

「情報システム」とは、前もって申請書を提出する準備をし、「事務局」の情報システムに接続し、申請情報を送信するため、確実な情報セキュリティを維持するための基準および文書確認システムにおける国際基準を備えた最新の情報システムで、文書の真正を確認するためのプラットフォームシステムを意味する。

「事務局」とは、投資委員会事務局を意味する。

第2項 グループ2の代理人認定の基準、条件および手続の指定

2.1 認定代理人の資格は以下のとおりとする。

(1) 払込資本金が 2000 万バーツ以上の会社、またはタイで登録された協会もしくは企業であること。

(2) 以下を備えた情報テクノロジーシステムを通してサービスを提供するビザ申請に関する事業者であること。

- 情報テクノロジーのサービス提供またはビザ申請の書類審査の経験があること。

- タイへの入国、在留期間延長、労働許可などの審査やサービス提供できるネットワークがあること。

- 情報セキュリティ国際基準政策に基づく情報セキュリティシステムを備えていること。

- 実行するために適切な仕様および数のパソコンや機器、事務局が定めるところに従い、事務局の情報システムと電子情報を送受信でき、作成、送信、受信、保存、検索、破棄、結果の報告のための電子処理システムを有していること。

- 事務局が承認した基準により電子情報の記録および受信、送信を行う従業員がいること。

(3) 適切性または事務局が定める追加条件に従っているかを判断するため、詳細な事業計画および運営ガイドラインがあること。

2.2 グループ2の認定代理人の業務範囲

(1) 事務局の定める様式、性質、方式に従い、事務局の情報システムに電子サービス利用者の文書を確認した結果を送信することも含めた、情報を接続し、転送するためのウェブベースのプラットフォームおよびモバイルアプリケーションを通じて長期滞在ビザ (LTR Visa) のための文書の真正を確認するサービスを提供するための情報システムの開発および準備。

(2) グループ 2 の認定代理人が記録した情報を収集、保存し、その情報を事務局の情報システムへ送受信し、事務局の情報システムに保存した電子サービス利用者の情報を長期滞在ビザ (LTR Visa) 申請者がシステムを利用した日から起算して 10 年以上サービスを提供する場所またはその他の許可を受けた場所に接続し、転送すること。

(3) 事務局の情報システムに、グループ 2 の認定代理人が保存した電子サービス利用者の情報を接続、転送すること。情報を転送した後、事務局が定める期間内にその情報を破棄しなければならない。

(4) 正確、完全かつ明確に原本 (Original Document) が表示された情報の電子情報を製作し、その情報を収集、保存すること。

(5) 文書が正確、完全かつ関連する規定に従っているよう精査して確認する従業員がいること。また、情報の安全性を管理、保守する国際基準に従い情報システムの管理を担当する従業員がいること。定期的に従業員の知識と能力および専門知識を向上させなければならない。

(6) サービス利用者との連絡窓口を設け、オンラインサービス利用者のために、情報システムに関するアドバイスや質問への回答、問題の解決を 24 時間体制で提供するための従業員を適切に配置すること。

(7) サービスを提供する手順および提供方法の詳細を含めたマニュアルまたは作業手順書を作成すること。

(8) 業務運営について関係する政府機関を支援し協力すること。

(9) 事務局および関係機関から許可を受けた場合または委託を受けた場合にサービス利用者が申請において便利かつ迅速に申請できるよう入国管理局、雇用局など関係機関の情報システムと連携および接続すること。

(10) 個人情報保護に関する法律およびサイバーセキュリティに関する法律を厳格に遵守すること。

2.3 グループ 2 の認定代理人の運営条件

(1) 作成、送信、受信、保存、検索、破棄、結果報告のための、事務局

が定めたところに従い、完全に事務局の情報システムと電子情報の接続および転送ができる電子処理システムによってテストシステム上で処理システムの試験を行うこと。

(2) 事務局が通知した日時に従い、サービスを提供することの適否を判断するため、サービスを提供する場所、コンピューターシステムや設備、業務を行う従業員の能力を立入検査する際、事務局が任命した担当係員に対して協力すること。

(3) 長期滞在ビザ (LTR Visa) のための文書確認システムのサービスを契約署名日から 120 日以内に開始すること。定められた期間内に運用を開始できない場合、グループ 2 の認定代理人は事務局に対し、その旨を申告する文書により、事務局から必要かつ適切な運用期間の延長を求める。この場合、運用は、業務範囲第 2.2 項および事務局が定めたところに厳格に従うこと。

(4) 3 か月ごとに運用実績、発生したまたは発生する恐れのある問題および／または障害を報告すること。必要に応じてそれよりもより早く報告させる場合がある。

(5) 認可日から毎年、事務局が定めた基準に従い業績評価に合格すること。

2.4 グループ 2 の認定代理人の申請方法

(1) 事務局が定めた方法および期間内に書類または資料とともにグループ 2 の認定代理人の選定申請書を提出する。

(2) 事務局は、申請者から適切な者 1 名のみ選定する。

(3) 事務局は、申請者が提出した文書から、事業計画およびビザ申請の審査サービス、情報技術のサービス、デジタルプラットフォーム形式での情報システム開発計画などのサービス提供者としての経験に基づく採点基準により選定する。

(4) 事務局は、選定した結果を裕福または才能のある外国人の誘致による投資および経済の促進措置推進委員会に提出し、同意および承認を得る。事務局は、検討結果をグループ 2 の認定代表者に書面で通知する。

(5) 選定された者は、事務局が定めた書式によりグループ 2 の認定代理人に任命する契約書に署名しなければならない。

第 3 項 グループ 2 の認定代理人の恩典は以下のとおりとする。

3.1 発行日から各回 5 年間の長期滞在ビザ (LTR Visa) 用の文書確認プラットフォーム (Certified Agency for Verification Platform Service: CA 2) サービスを提供するためのグループ 2 の認定代理人の認定書類を受領する。

3.2 事務局の同意したところに従い、長期滞在ビザ (LTR Visa) 用の文書確認プラットフォームの利用料および関連するサービス利用料を徴収することができる。

第4項 グループ2の認定代理人の取消および解除

4.1 グループ2の認定代理人としての活動を停止したい場合、グループ2の認定代理人としての事業を停止する少なくとも90日前に事務局に書面で通知する。

4.2 事務局がグループ2の認定代理人が事務局の定める基準、条件および手続きに違反または遵守していないと判断した場合、事務局は、所定に期間内に是正するよう書面で警告する。もし、その者が所定の期間内に是正しないか是正することができない場合、事務局は、裕福または才能のある外国人の誘致による投資および経済促進措置推進委員会にグループ2の認定代理人の解除を提案する場合がある。

4.3 取消または解除されるかグループ2の認定代理人の期間が満了し更新されていない場合、グループ2の認定代理人を取消される前に終了していない責任業務を全て完了させなければならない。

第5項 責任

5.1 グループ2の認定代理人またはその従業員が国家機関やサービス利用者に損害を与えた場合、故意であるか否かに関わらずグループ2の認定代理人は結果に対する責任を負うとする。

5.2 グループ2の認定代理人またはその従業員が文書を偽造、変造またはその他の不正行為を故意に行ったことが明らかとなった場合、事務局は、グループ2の認定代理人を取り消す手続きをとることがある。

5.3 グループ2の認定代理人またはその従業員が5.1または5.2に記載された行為を行った場合、グループ2の認定代理人またはその従業員の行為とみなされ、事務局はその責任を負わない。

5.4 事務局は、グループ2の認定代理人の行為により、契約条項や事務局が規定する損害が発生した場合、グループ2の認定代理人またはその従業員に対し、法的措置を講じる権利を留保する。

第6項 グループ2の認定代理人の募集

6.1 グループ2の認定代理人の申請を希望する者は、この布告による資格を備えたものでなければならない。ウェブサイト <http://ltr.boi.go.th> タイトル認証機関 (CA) または

<http://www.boi.go.th> から申請書を印刷し、全てを記入の上、申請書に記載された書類一式を添付し、全ての書類に真正な写しであることを証明する署名した上で、募集期間の時間内に提出する。

6.2 申請者は、仏暦 2567 年（2024 年）4 月 1 日から同月 30 日まで（8 時 30 分から 16 時 30 分まで）申請書をチャムチュリ・スクエアビル 18 階のビザ・労働許可書サービスセンターに提出することができる。その際、国民 ID カードまたはその他政府が発行したカードを提示すること。

第 7 項 グループ 2 の認定代理人名の公表は、ウェブサイト <http://ltr.boi.go.th> および <http://www.boi.go.th> において公表する。

公布日 仏暦 2567 年（2024）年 4 月 2 日

ナリット・タートサティーンラサック

投資委員会委員長

裕福または才能のある外国人の誘致による投資

および経済促進措置推進委員会委員長代行